

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 17 日(土)

試合時間：15:00～

主審：和田 敏文

副審：砂川 卓嗣

九州共立大学	○ 9 5	16	—1st—	17	● 6 9	鹿屋体育大学
		21	—2nd—	13		
		19	—3rd—	19		
		39	—4th—	20		

第 1 ピリオド

鹿体大 # 1 7 土器手の 3 P シュートで幕を開ける。すぐさま、# 1 7 土器手が 3 P シュートを連続で決めるも、九共大 # 1 1 久保田がレイアップを決め返す。両チーム果敢に攻め込み、両者譲らず試合は進む。鹿体大は力強いリバウンドからブレイクを出し、# 2 5 石山が連続得点を決める。しかし、九共大 # 1 7 田畑が 3 P シュートで応戦し、激しい攻防は続くが、16-17、鹿体大が 1 点リードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

九共大 # 1 3 栗原のレイアップシュートで始まった第 2 ピリオド。九共大 # 2 2 河井がファウルを誘い、徐々に九共大ペースになり始める。主導権を握られまいと、鹿体大も # 2 1 林がジャンプシュートを沈める。タイムアウト直後、鹿体大 # 2 5 石山がシュートをねじ込むが、九共大 # 1 7 田畑が 3 P シュート、# 1 1 久保田がレイアップシュートを決め、点差を広げる。ここで離されたくない鹿体大だが、ミスが続いてしまう。九共大 # 1 1 久保田、# 1 0 片峯の連続得点で引き離しにかかるが、鹿体大 # 2 5 石山、# 0 池田が決め返し、7 点差に迫り、37-30 で第 2 ピリオドを終える。

第 3 ピリオド

序盤から、両チーム積極的に攻め合う。九共大 # 1 0 片峯のレイアップシュート、鹿体大 # 6 森山がシュートを決め、一進一退の攻防が続く。前半流れを掴んでいた九共大だが、鹿体大 # 1 7 土器手がフリースローを沈め、2 点差に迫る。しかし、九共大 # 2 金城、# 1 7 田畑が 3 P シュートを決め、主導権を譲らない。残り 2 : 5 2、九共大 # 1 7 田畑が 3 P シュートを決め、1 2 点差となり、これ以上離されたくない鹿体大はタイムアウトを請求。タイムアウト後、鹿体大 # 0 池田、# 6 森山が得点し、再び 7 点差に戻し、56-49 で第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

最終ピリオドで粘りたい鹿体大。# 2 9 宮崎が 3 P シュートを決める。しかし、波に乗る九共大をなかなか止めることができず、残り 7 : 2 5、鹿体大タイムアウト。その後も九共大は # 1 1 久保田、# 1 大江と立て続けに得点を重ねる。鹿体大も # 2 9 宮崎が 3 P シュートを決め返すが、九共大 # 2 2 河井のリバウンドが光る。# 1 7 田畑が連続 3 P シュートで点差を広げ、95-69、九共大が勝利した。